

PCSA アクションレポート（人事問題研究部会）

平成 31 年 6 月版

第 183 回人事問題研究部会・RPA 勉強会

- 開催日時 令和 1 年 6 月 14 日（木） 午前 11 時～午後 3 時
 開催場所 TKP 上野駅前ビジネスセンター 6A
 出席人数 部員 8 名、正会員オブザーバー 8 名、賛助会員オブザーバー 2 名、アドバイザー 1 名、合計 19 名
 出席者 <リーダー>
 志賀 健太郎 株式会社ニラク 人財開発部 人事労務グループマネジャー
 <サブリーダー>
 木内 克宏 アメニティーズグループ（株式会社パンドラ） 組織戦略部
 <部員>
 長岡 敏之 株式会社ダイナム 人事部 人事労務担当
 今井 宏行 夢コーポレーション株式会社 事務職
 久保 龍也 株式会社合田観光商事 人材開発部 人事企画・労務管理課 次長
 塩田 英紀 株式会社ヒカリシステム 東寺山店 ストアマネジャー
 川口 治 アメニティーズグループ（株式会社アメニティーズ） 組織戦略部 係長
 小泉 和義 株式会社三永 管理部 総務課 課長
 <正会員オブザーバー>
 田中 真知子 株式会社ニラク 人財開発部 人事労務グループ
 茂木 悟 株式会社合田観光商事 人材開発部 人事企画・労務管理課 課長
 小山内 勝 株式会社ヒカリシステム システムサポート部 リーダー
 浮ヶ谷 雄輔 株式会社ヒカリシステム プログラマー
 前野 匡志 アメニティーズグループ（株式会社パンドラ） 第一営業部 部長
 武内 好努 アメニティーズグループ（株式会社パンドラ） 営業支援部 兼 監査室 課長
 佐藤 弘志 アメニティーズグループ（株式会社パンドラ） 営業支援部 主任
 倉澤 康之 アメニティーズグループ（株式会社アメニティーズ） IS 戦略部 係長
 <賛助会員オブザーバー>
 辻 雄亮 株式会社マースエンジニアリング
 前川 竹志 株式会社インターコスモス 取締役本部長
 <アドバイザー>
 藤田 宏 株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所 代表取締役社長

第 183 回人事問題研究部会

1) RPA 勉強会について

開催日時：令和元年 6 月 14 日 午後 1 時 30 分～午後 3 時

講師：株式会社クレオ様

テーマ：「RPA(Robotic Process Automation) について（仮題）」

- ・内容は、“初心者向け”。
- ・事務作業の一部を、ロボットを使って自動化する取り組みであり、エクセルやインターネットとの親和性が高い。

- ・RPAの基礎知識や可能性、実機デモンストレーションを通じて、生産性向上や人件費削減の一例として学ぶ。

2) 7月拡大部会 in 大阪 進捗報告

開催日：令和1年7月11日～12日

スケジュール：

令和1年7月11日

PM2:00 PM5:00

拡大人事問題研究部会 in 大阪 Part1 会場：ダイナム大阪統括事務所

- ①労政時報勉強会「大規模災害時の行動基準」
- ②各社から事前に質問を募集して各社の対応を共有。

令和1年7月12日

拡大人事問題研究部会 in 大阪 Part2 株式会社晋陽 本社会議室

AM9:00 PM12:00

- ①各社から事前に質問を募集して各社の対応を共有。

3) 拡大人事問題研究部会 11月 in 愛知・2月 in 大分

<11月 in 愛知>

- ・開催日：令和1年11月7日～8日。
- ・女性活躍推進の取り組みを積極的に進めている、めいほうグループ様の訪問を検討中。

<11月 in 愛知>

- ・開催日：令和2年2月13日～14日。

4) 労働時間・残業時間・休暇調査アンケートについて

- ・前回部会までにアンケート結果をまとめて分析した。
- ・今後は、人事部会内の質問コーナーなどで回答する際に活用していく。

5) 人事問題研究部会 質問コーナー 2019.6

Q：育休からの復帰後、①フル出勤者と②時短勤務者について、何らかの待遇差があるか？

背景：時短勤務者の復帰に際して、時短分の給与を控除をする対応を考えていたが、社内から、「短縮なしで復帰した社員がいるのだから、時間分の減額だけで公平と言えるのか？」「フル出勤者に報いてあげたい」という意見があり、他社規定や事例を収集している。

<意見>

- ・時短勤務者の給与を、時短分控除額を超えて下げることは、法令違反。
- ・子育てしているのにフル勤務だという点を評価したいという気持ちは心情的には理解できる。
しかし、もともとフル勤務で入っていて、育休から戻ってきて再度フル勤務というのは、元に戻っているだけであり、もっとも平等と考えられる。
- ・フル勤務者に対しプラスの処遇をすることは、時短勤務を抑制させる動きと捉えられ、法令違反と解釈される可能性が高い。
- ・フル勤務の方に、役員が感謝の言葉を伝えるのが良い。

<他社事例>

時短勤務および時間帯限定勤務（早番限定、等）について下記事例が挙げた

- ・時短勤務に対しては、「時短分の給与控除」の回答がほとんど。
- ・フル勤務に対しては、「復帰前と同様」の回答がほとんど。
- ・育休前に早番遅番で働いており、育休からの復帰後は早番のみ、その後、早番遅番に「通常より早く」復帰した場合は、ひよこ休暇（特有給）をあげている。使える期限は2年間。
- ・早番と遅番の両方に入っている人への手当があり、早番限定だとその定額の手当が外れる。
- ・限定社員制度があり、通常の社員とは賞与テーブルを変えている。

6) 次回開催

名称：PCSA 拡大人事問題研究部会 in 大阪

開催日：令和1年7月11日（木）～12日（金）

開催場所：ダイナム大阪統括事務所、株式会社晋陽本社会議室

部会内容：1. 労政時報勉強会「テーマ：大規模災害時の行動基準」
2. 人事問題研究部会 質問コーナー in 大阪 2019.7 他

RPA 勉強会

概要

テーマ：「RPA のはじめ方!! CREO-RPA のご紹介」

講師：株式会社クレオ 様

ソリューションサービスカンパニー マーケティング統括部 RPA 推進グループ

柳沼 寛人 様 事業推進部 担当部長

山田 耕大 様 マーケティング統括部 事業企画部 RPA 推進グループ シニアマネージャー

本間 順和 様 マーケティング統括部 事業企画部 マネージャー

内容

<セミナーの目的>

1. RPA とは何かイメージを持ってもらう
2. 市場状況を知ってもらう
3. CREO-RPA を知ってもらう

<RPA とは>

- ・RPA = ロボティクス・プロセス・オートメーション
- ・パソコン上にソフトウェアのロボットを立ち上げ、決まった手順の事務処理を肩代わりさせる技術。
- ・休まない、24 時間 / 365 日稼働
- ・間違えない、高い作業品質
- ・辞めない、無離職・無制限採用
- ・RDA では、マウス / キーボード操作を記録し設定する⇒パソコンを占有。
- ・RDA では、実行端末ごとにライセンス購入が必要⇒規模拡大に応じコスト増。
- ・RPA では、WEB や Excel は開発ツールで処理ができる⇒バックグラウンドで処理。
- ・RPA では、サーバーにロボットが存在⇒規模拡大で RDA よりコスト安。

<導入展開と気をつける事>

- ・展開イメージとして、導入計画で導入の意義を確認、全体のロードマップを策定、ロボットの開発と導入では、トライアルとして、対象となる業務を選定、トライアル開発、結果評価をし、本格的な導入を準備し展開する。
- ・なお、「10 体ルール」としてまずはロボットを 10 作成してその課題や本格導入時の運用ルールなどを模索、策定する。
- ・コスト削減にこだわりすぎず作業品質の向上や社員のストレス削減も狙うと良い。あまり削減できる時間やコストだけに注目しすぎてはよくない。

<対象業務選定時のポイント>

- ・RPA の対象業務を選ぶポイントは、複雑度が低く、要求される正確性が高く、承認を絡めた正当性の確認はなく、業務の変更頻度はとボリュームは中程度。
- ・RPA と相性の良いシステムは、WEB や Excel やテキストファイルの転記（入力代行）、データ集計・出力、突合・チェック、モニタリング、データ更新など。

<RPA の市場動向>

- ・RPA の導入状況においては、50%以上が検証中で本格展開中は 20%ほど。
- ・ロボット開発人材不足での課題は、対象業務の選定やシナリオの造り込みが最も多く上げられている。
- ・最も重要なのは自社内の人材育成。

<デモンストレーション>

- ・WEB サイトからのデータ抽出。
- ・Excel からシステムへ転記。
- ・人事業務に関するロボット。
- ・パチンコホール固有のロボット事例。

<CREO-RPA サービスのご紹介>

- ・従量課金で、初期費用無料、月額最低 6 万円、従量課金は月 20 時間以上から発生し最低契約期間は 6 ヶ月。
- ・充実したサポート体制。
- ・RPA 管理ツールがセットとして提供される。
- ・高性能 OCR の Tegaki エンジン搭載の「CREO OCR」が利用可能。

質疑応答

Q：1 シナリオ 1 ロボットなのか、何台ロボを作っても 20 時間を超えない限りは 6 万円という事なのか。

A：ロボ自体を作るのは好きなだけ作れる。なお、ロボを作れるアカウントの同時接続可能数が 1 となる。

Q：Tegaki エンジンの利用料金の形態は？

A：月の固定費用は 0 円で、データの読み込みによって課金をさせて頂く。1 行の枠で 1 円、複数行の枠は 1.25 円、ボックス（郵便番号）という等間隔の枠は 1 枠 0.25 円、チェックボックスが 1 つで 0.25 円になる。

Q：人材育成が重要という事だったが、どのくらいの人材を投入すべきなのか。

A：顧客プロジェクト規模では 2~3 名が多い。中には 1 名システムに強い方が居る印象がある。また、無料の講習会を十何名受けさせて、その中から最適な方を選ぶという方式をとっている顧客もある。

Q：グーグルのツールなど、得意、不得意なアプリを教えてください。当社はグーグルに特化している。

A：グーグルの API を直接操作するようなステップもあるが、難易度が高い。また、グーグルのスプレッドの操作は得意ではない。座標指定が HTML 形式なので安定しない。OFFICCE の方は実績もある。なお、開発言語は

オリジナル。

Q：クラウドなのかローカルなのか。

A：サーバーにデータ等があるが、実際に動くのはローカル。ただし、ローカル 1 台から又別のローカルを操作するような RPA を組み込むことも可能。

Q：当社の使用している他社製のツールを操作することは可能なのか。

A：お客様のローカルマシンで操作するようなものであればすり合わせた上で操作は可能だが、他の取引先のサーバーと特殊なツナギ方をして作業をすとなれば難易度が高くなる。

以上